

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
学年	1年	教科書	高等学校改訂新生物基礎（第一学習社）		
学科	全学科	副教材	改訂ネオパルノート生物基礎（第一学習社）		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高めます。 ② 目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を身に付けます。 ③ 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 生物の特徴	・生物にみられる多様性と共通性や細胞とエネルギーについて学習します。
	2 遺伝子とその働き	・遺伝子とDNAや遺伝子の働きについて学習します。
2	3 生物の体内環境	・体液とその働きや体内環境を維持するしくみ、生体防御について学習します。
	4 植生の多様性と分布	・植生と遷移や気候とバイオームについて学習します。
3	5 生態系とその保全	・生態系と物質循環や生態系のバランスと保全について学習します。
課題	① 予習・復習…教科書・補助教材を用いて予習・復習をします。 ② 夏休み課題…環境啓発ポスターの作成をします。 ③ 冬休み課題…生物学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
II 思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
III 観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
IV 知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。 (100点法)

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2
学年	2年	教科書	改訂 新編化学基礎		
学科	全学科	副教材	なし		

学習目標	①日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化を学びます。 ②観察・実験などを行い、事物現象を確認・理解します。 ③化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を学びます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 化学と人間生活	・生活の中の化学について学びます。
	2 物質の構成	・混合物と純物質、元素・単体・化合物、粒子の運動、物質の状態について学びます。 ・原子の構造、原子の電子配置、イオンの生成元素の周期表について学びます。 ・粒子の結合の種類について学びます。
2	3 物質量と化学反応式	・原子量・分子量・式量、物質量、溶液の濃度、化学反応式、化学変化の量的関係について学びます。
	4 酸と塩基	・酸と塩基、水素イオン濃度とpH、酸・塩基の中和、塩の性質について学びます。
3	5 酸化還元反応	・酸化と還元、酸化剤と還元剤、金属のイオン化傾向と酸化・還元、酸化還元反応と人間生活について学びます。
	6 探求活動	・実験観察をします。
課題	①予習・復習・・・教科書を用いて予習・復習します。 ②夏休み課題・・・自由研究を実施し、結果を整理し、レポートにまとめます。 ③冬休み課題・・・科学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
II 思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。
III 観察・実験の技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
IV 知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	3
学年	3年	教科書	高等学校 改訂 新物理基礎 (第一学習社)		
学科	環境開発科	副教材	なし		

学習目標	①日常生活の中にある物理的現象への関心を高めます。
	②目的意識を持って観察・実験を行い、物理的に探求する能力と態度を育てます。
	③物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 運動の表し方	日常生活の中の運動について考えます。
	2 運動の法則	運動の法則を知り、理解します。
	3 仕事と力学的エネルギー	仕事と運動エネルギーの関係を理解し、考えます。
2	4 熱とエネルギー	熱と熱量、エネルギーについて考察します。
	5 波の性質	波と媒質の運動について考察し、原理を理解します。
	6 音	音の種類と性質を知り、共振、共鳴を学びます。
3	7 物質と電気抵抗	電気の性質、電流と電気抵抗エネルギーを学びます。
	8 交流と電磁波	電流と電磁波について知り、電磁波について学びます。
	9 エネルギーとその利用	エネルギー資源と発電、エネルギーを考察します。
課題	① 予習・復習とまとめ…教科書や学習プリントを用いて予習・復習とまとめを行います。 ② 夏期休業中の課題……科学研究の進め方を基に、探求活動を行います。(レポート提出) ③ 冬期休業中の課題……電気測定器等を使用して、探求活動を行います。(レポート提出)	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	授業に対する姿勢、学習態度、物理への関心等で判断します。
II	思考・判断・表現	授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考などを評価します。
III	技能	観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価します。
IV	知識・理解	物理学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているか判断します。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教 科	理科	科 目	生物基礎	単位数	3
学 年	3 年	教科書	高等学校改訂新生物基礎（第一学習社）		
学 科	生物工学科・園芸流通科 食品化学科・生活科学科 特用林産科	副教材	改訂ネオパルノート生物基礎（第一学習社）		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高めます。 ② 目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を身に付けます。 ③ 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 生物の特徴	・生物にみられる多様性と共通性や細胞とエネルギーについて学習します。
	2 遺伝子とその働き	・遺伝子とDNAや遺伝子の働きについて学習します。
2	3 生物の体内環境	・体液とその働きや体内環境を維持するしくみ、生体防御について学習します。
	4 植生の多様性と分布	・植生と遷移や気候とバイオームについて学習します。
	5 生態系とその保全	・生態系と物質循環や生態系のバランスと保全について学習します。
3	6 探求活動	・実験・観察を行います。
課 題	①予習・復習…教科書・補助教材を用いて予習・復習をします。 ②夏休み課題…環境啓発ポスターの作成をします。 ③冬休み課題…生物学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点	内 容
I 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
II 思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
III 観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
IV 知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。 (100点法)